

平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業))
「健やかな親子関係を確立するためのプログラムの開発と有効性の評価に関する研究」

分担研究年度終了報告書

県の母子保健政策としての妊娠期からの切れ目のない支援における
医療・保健・福祉のあり方についての研究

研究分担者 山縣 然太朗 山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

研究協力者 立花 良之 国立成育医療研究センターこころの診療部
乳幼児メンタルヘルス診療科

渡辺 千奈美 山梨県健康福祉部

【研究要旨】

健やかな親子関係を育むための、医療・保健・福祉が連携した地域における妊娠期からの切れ目のない親子の支援システムの開発とその効果検証を行うことを目的とした。山梨県健康福祉部と連携し、妊娠期からの切れ目のない妊産婦のメンタルヘルスの体制構築をおこなった。体制構築にあたり、立花らの地域介入プログラム（立花ら、2014）を用いた。平成30年度は山梨県内の保健所で研修会を開催し、県内における親子の支援システムの均てん化を図った。令和元年度にその効果検証を行う予定である。

A. 研究目的

健やかな親子関係を育むための、医療・保健・福祉が連携した地域における妊娠期からの親子の支援システムの開発とその効果検証を行うことを目的とした。

B. 研究方法(倫理面への配慮)

山梨県にて、妊娠期からの切れ目のない妊産婦のメンタルヘルスの体制構築をおこなった。

山梨県の健康福祉部と協働し、立花らが先行研究で作成した地域母子保健システム（立花ら、2014）を山梨県の母子保健政策としての妊娠期からの切れ目のない支援体制について実施することとした。

下記の要素を盛り込んだ保健師の介入プログラムについて、マニュアル化し、マニュアルを用いた研修会を実施した。

1. 妊娠届け出時にすべての妊婦に対して保健師が面接を行って母親との関係性を構築し、また、心理社会的リスクをアセスメントする
2. 多職種連携のためのクリニカルパスを作成して地域の母子保健関係者間で共有する
3. 心理社会的リスクありと判断された親子について、定期的に多職種でケース検討会議を行いフォローアップする

C. 研究結果

2018年度に下記の研修会を実施した。

- 5月24日 山梨県保健師会
- 7月12日 山梨県富士・東部保健所
- 7月26日 山梨県中北保健所
- 8月16日 山梨県富士・東部保健所
山梨県峡北支所
- 8月23日 山梨県峡東保健所
- 8月27日 山梨県中北保健所
- 9月13日 山梨県中北保健所研修会
- 10月15日 山梨中北保健所研修会
- 10月22日 山梨県中北保健所研修会

2019年

- 1月24日 山梨県愛育会研修会

県内の全保健センターで介入プログラムを開始した。

2019年度に介入プログラム導入前後の地域母子保健データから、介入プログラムの効果を検証予定である。

D. 健康危険情報(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

E. 研究発表

1. 論文発表
該当なし

2. 学会発表（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）
該当なし

F. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得:なし
2. 実用新案登録:なし
- 3.その他:なし